



令和5年度全国学力・学習状況調査、みえスタディ・チェックの結果報告

4月18日(火)、全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が実施されました。また、4月21日(金)には、三重県内の小学校4、5年生において「みえスタディ・チェック」が行われました。このほど、その結果が公表されたことを受け、本校において学力・学習状況についての結果分析等を行いました。今回は、その結果分析等に基づいた本校児童の現状について紹介をします。(裏面に続きます)

令和5年度全国学力・学習状況調査からみられる本校児童(6年生)の特徴

【国語】全体的には、県や国の平均正答率をやや下回る結果でした。全体的に『思考・判断・表現』の観点、特に記述式問題の正答率が低く、記述式の問題については、一定数の児童に無回答が見られました。

(強み)「言葉の特徴や使い方に関する事項」は全国平均を上回る正答率でした。「日常よく使われる敬語の理解」についても、全国平均を上回る正答率でした。

(弱み)「図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する(正答率16% 無回答率40%)」「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる(正答率24% 無回答率32%)」といった問題の正答率が低かったです。本校児童は、複数の情報から自分の考えをまとめることが苦手で、中でも図表やグラフを使いながら考えをまとめて記述することに課題が見られました。

【算数】全体的には、県や国の平均正答率を下回る結果でした。図形領域の正答率が低く、データの活用領域でも題意を捉えていない児童の割合が高く、読解力において課題が見られました。特に『思考・判断・表現』の観点の正答率、記述式問題の正答率が低く、無回答率が非常に高くなる傾向も見られました。

(強み)選択式、短答式の問題では無回答率が低く、意欲を持って取り組めていることがわかりました。『知識・技能』の観点では、正答率も全国平均並みで、概ね内容の理解ができていると考えられます。

(弱み)「高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうか」を問う問題について、全国平均でも正答率が約20%と低いですが、本校児童は設問が記述式問題であったことも影響してか、正答者はいませんでした。「示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述する(正答率28% 無回答率44%)」「百分率で示された割合(正答率28%)」についても正答率が低くなりました。記述式の問題については、一定数の児童に無回答が見られました。質問の意味が理解できていなかったり、説明することが苦手だったりする児童への手立てを考えていく必要があります。

学習・生活状況調査からみられる本校児童(6年生)の特徴 ()内は肯定的回答率

基本的な生活習慣(朝食をとる、起床・就寝時刻)については、概ね全国平均値を上回っていました。「自分には、よいところがありますか(96%)」「将来の夢や目標を持っていますか(92%)」の結果から、本校は、自尊心(自己肯定感、自己有用感ともいわれます)の高い児童が多いことが伺えます。また、「人が困っているときは、進んで助けていますか(96%)」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか(100%)」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか(100%)」についても肯定的な回答の数値が非常に高く、学校生活を見ていても、下級生の面倒を見たり、困っている人に声をかけたり、助けようとしていたりする場面をよく見かけます。間違った言動をしているなかまに対して指摘している場面を見かけることもあり、なかまから指摘された児童も、時間が経った後には、指摘を受け止めている状況がありました。なかま同士の気持ちを大切にできるような雰囲気、今後も大切にしていきたいと考えています。

「学校に行くのは楽しいと思いますか(88%)」「友だち関係に満足していますか(92%)」「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか(92%)」については、いずれも全国平均値を上回っていますが、否定的な回答をしている児童も数名いる状況であり、気になるところです。授業中をはじめ、長い休みの時間帯もしっかりと児童の様子を把握し、教職員間で情報共有をしていきたいと思ひます。

「今住んでいる地域の行事に参加していますか(88%)」「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思ひますか(88%)」についても、肯定的な回答が全国平均値を大きく上回っていました。自然に囲まれた環境、

お祭りや地域行事の充実、子どもを温かく見守ろうとする地域風土を児童も強く感じているものと思います。

一方、「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)(64%)」で、肯定的な回答は全国平均並みではあるものの、平日や休日の家庭学習時間は全国平均値よりも少なく、平日・休日に関わらず1時間未満が半数となっています。見通しをもって自分で学習の計画を立て、それに基づいて学習を進めていくという経験を積み、自ら学ぼうとする力の育成に取り組んでいきたいと思います。

「新聞を読んでいない」と回答している児童が80%を超えていて、論理的に説明をしたり、自分の意見を述べたりすることに影響が出ていると感じます。書物や新聞にふれる機会を持つことも増やしていきます。

令和4年度みえスタディ・チェックからみられる本校児童(4,5年生)の特徴

【国語】

4年生は市平均正答率(以下市平均)をやや上回る結果、5年生は上回る結果となりました。4・5年生ともに、知識及び技能領域の正答率で市平均を上回る結果となりました。漢字の読み書きや文法・構文など、基礎的な言語に関する事項については、市平均と同等か上回る結果となっています。「文の中における主語と述語との関係をとらえることができる」という出題については、4・5年生ともに市平均を15%程度上回る結果となっています。無回答率が低く、何かしら回答しようとする意欲や頑張りを感じられました。

設問に関しては、「叙述を基に考えや理由を考える」「話し合いの内容を正確にとらえてまとめたり、筋道を立てて話したりする」「登場人物の気持ちの変化を想像する」といった内容に関して正答率が低く、無回答率も高い傾向がありました。全体的に、記述式の問題では正答率・無回答率が高くなる傾向があり、書くことや読むことへの苦手意識が強い児童が多いことが感じ取れました。

【算数・数学】

4年生は市平均を下回る結果、5年生は上回る結果となりました。無回答率が低く、何かしら回答しようとする意欲や頑張りを感じられました。4・5年生ともに、基礎的な計算の領域では市平均を下回る結果となっており、基礎的な計算の力が定着していない児童が一定数いることがわかりました。4年生については、除法の意味、分数の意味についても理解している児童の割合が半数に満たない状況でした。5年生は、小数の除法の意味、分数の意味について理解している児童の正答率が、市平均をかなり上回っている状況でした。

4・5年生ともに、図形の領域において正答率が低く「図形の面積の求め方を説明する」という内容では、正答者が少なく、回答の状況から「問題を読んでも問われていることがわからない」「どのように答えを導き出すのか見通しが持てていない」児童が多いようにも感じました。回答の状況から、問題文を正確に読み取ること、求め方や考え方を説明することを苦手とする児童が多く、授業改善を図りたいと考えます。

【理科(5年生)】

市平均をやや上回る結果となりました。エネルギー、粒子、生命、地球、すべての領域で市平均と同等かやや上回る結果となっています。「気温の適切な測定方法」については、数名の児童しか正答できていませんでした。「自分の考えを持ち、その内容を記述する」といった問いでは、無回答率が上昇し、正答率も低くなる傾向がありました。本校児童の特徴として、観察で得られた結果や実験結果をもとに考えたりする問題については正答率が高くなっていました。実際に観察や実験を通して体験的に身につけた知識は、定着しやすく、正答率が高くなっているのではないかと考えます。

これらの調査問題の趣旨等を踏まえて(考察)～指導の工夫と改善に関わって～

○本校児童は「書くこと」「読むこと」への苦手意識が強く、普段の授業でキーワードを示したり文字数を指定して作文に取り組ませたり問題文の重要なところに線を引いたり印をつけたりしながら、読む習慣が身につくようにします。

○授業における焦点化児童を意識し、どの子も意欲を持って主体的に参加できる授業を創造します。

○記述する力をつけるために、問題の解き方や考え方を説明する機会を、授業の中で効果的に取り入れていきます。

○算数の文章題では、立式する前に図や数直線に表したり、ICTを活用して視覚的に捉えやすくしたりする工夫をすることで、設定された場面をイメージし、題意を正確につかめるような習慣が身につくようにします。

～学習習慣の確立と学力補充の充実に関わって～

○定着に課題が見られる問題は、教育委員会作成のワークシート等を活用し、復習する時間を確保していきます。

○自ら学ぶ習慣をつけるために自主学習を継続し、また、そのノートを校内掲示することで、学習意欲を持たせます。

○朝学習を中心に、言語に関する事項(同音異義語・ローマ字・主語と述語等)について反復学習を続けます。

○家庭学習の手引きを保護者に配付し、子どもたちに自主的な学習習慣が身につくように促します。(文責 北住 昌文)